

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

HONDA CT125 ハンターカブ

PURE SPORT マフラー

取付説明書



<取付所要時間の目安>
約40分

《商品内容》 ※サイズの単位:mm

① ピュアスポーツ マフラー(一体構造)	×1	⑤ マフラーガード	×1
② サイレンサー・バンド / ラバー	×各1	⑥ 六角穴付きボタンのボルト(M6×10)	×3
③ アルミカラー	×1	⑦ タイラップ(結束バンド)	×1
④ 平ワッシャー	×2		

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とは形状や仕上げなど一部異なる場合があります。
 ※ 作業は平坦な場所でセンタースタンドを立てて車体を安定させ、エンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
 ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用のガスケットをご購入の上、新品に交換して下さい。
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける事をおすすめします。
 ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をおすすめします。

1 純正マフラーを取り外します。



アンダーカバーを取り外します。(フレームに4点止めされています。)



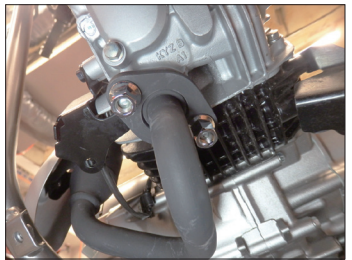
右側ボディカバーを取り外します。



固定されている2箇所を取り外し、内側の爪を折らないように注意しながらゆっくりと取り外します。(外れた瞬間にキックペダルやステップに当たって傷つかないように、ウェスなどで養生しておく事をおすすめします。)



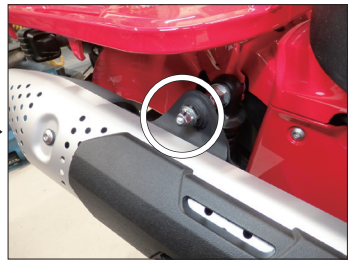
エンジン接合部のフランジを固定しているナット・2箇所を取り外します。



サイレンサー下部を固定しているボルトを取り外します。



サイレンサー上部を固定しているナットを取り外し、マフラー一式を車体から取り外します。(傷つき防止の為にフレーム周りは養生しておきましょう。)

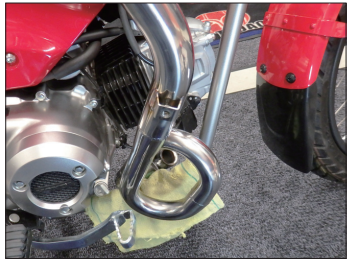


エキゾーストガスケットを新品に交換しておきます。(車種専用の物を別途お買い求め下さい。)

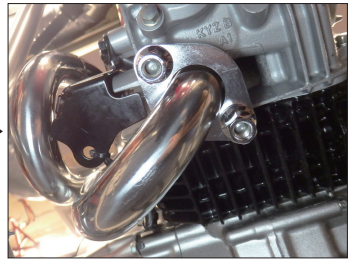
2 PURE SPORT マフラーを仮組みします。



純正マフラーに付いていたゴムダンパーとツバ付きカラーをピュアスポーツマフラーに移し替えます。



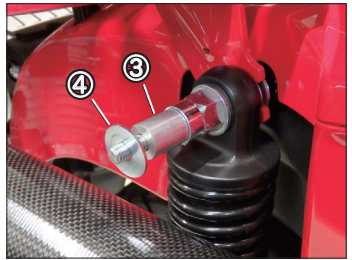
ピュアスポーツマフラーをエンジンに組み付けて行きます。



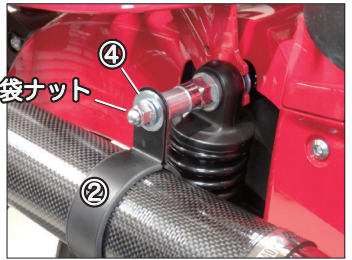
フランジの固定には純正マフラーに使用していたナットを再使用します。(ナットは仮締め状態にしておきます。)



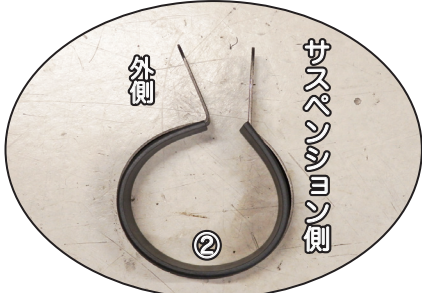
サイレンサー下部を仮止めします。固定には純正マフラーに使用していたボルト / ワッシャーを再使用します。



純正サイレンサー上部を固定していたボルト箇所付属のアルミカラー③と平ワッシャー④を組み付けます。

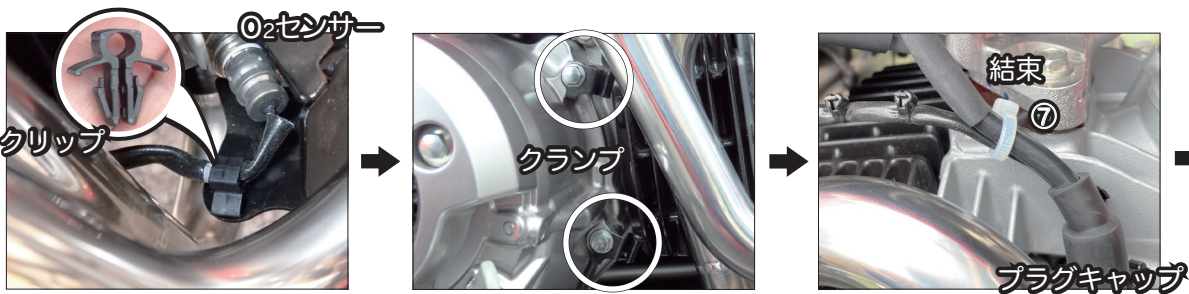


付属のバンド / ラバーを使用してサイレンサー部分を仮止めします。純正マフラーに使用していた袋ナットを再使用し、座面に付属の平ワッシャー④を挟み込んで固定します。



サイレンサーバンドは向きが決まっています。

3 O₂センサーの配線の取り回しを変えます。(配線がマフラーに触れないようにします。)



O₂センサーの配線を固定しているクリップをセンサーガードから取り外します。(この後使用しません。)
 配線をクランクケースカバーのクランプ2箇所から外して自由な状態にします。
 プラグキャップをプラグから一旦取り外します。センサーの配線をプラグキャップの前に通し、プラグキャップを再びプラグに取り付けます。(しっかり組み付けます。)
 付属の結束バンド⑦を使用してプラグコードの一部に配線を結束させます。余った部分はニッパーでカットします。



4 付属のマフラーガード⑤を取り付け、アンダーカバーを取り付けます。



付属のボタンボルト⑥を使って3箇所固定します。



5 各部のクリアランス、取り付け状態を確認しながら仮止め状態の各部を本締めします。



転倒歴のある車輛などは特に各部の隙間をよく確認して下さい。

右側ボディーカバーを取り付けます。



本締めを終わりましたらパイプに付着した汚れや油分をパーツクリーナー(脱脂剤)でしっかりと拭き取って下さい。
 汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

6 エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了です。

- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー製造時に内部に残った油分が焼ける事により白煙や臭いが発生する場合がありますが、しばらく走行を繰り返していくうちに収まって行きます。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 製品によりましてはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。
- ※ 【グラス・ウールは消耗品です!】マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。使用距離: 10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。